

平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 アルビス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大森 実
(コード番号: 7475 東証第一部)
問い合わせ先 取締役経営企画室長 増田 一男
(TEL. 0766-56-7223)

(仮称)アルビス生鮮プロセスセンターの構築について

当社は、本日開催の取締役会にて、第 53 期（平成 32 年 3 月期）に稼動予定となる掲題センターを構築することと致しましたのでご報告します。

1. 新センター構築の目的

新センターは、中期経営計画に掲げる「北陸地区 1,000 億円体制に向けた販売・物流体制」の一環として構築するもので、店舗のバックシステムとなる精肉加工と惣菜製造を担う工場機能となります。作業を集中化し店舗で行っていた業務を軽減、最新鋭の製造設備を導入し商品力や衛生管理面を強化し、事業の生産性を向上し店舗販売力を高めることで増収増益を目指すものです。

新センターの実現により、採用環境や競争環境など厳しさを増す事業環境下においても、積極的な出店による事業拡大が可能となり、長期的な企業成長を実現するための戦略的なインフラ事業となります。

2. 新センターの概要

(1) 所在地

本社社屋隣接地 約 3,000 坪（富山県射水市流通センター水戸田 3-2-1、3-2-2）

(2) 製造能力

店舗売上高 1,200 億円に相当する精肉加工、惣菜製造能力を有する。

2021 年義務化となる HACCP に対応、食品衛生管理に関する ISO 基準認証を取得予定。

(3) 効果

- ・ 製造業務の集約化による店舗業務の削減、お客様サービスの向上
- ・ 商品の製造力強化、新商品の順次投入による店舗販売力の強化
- ・ 工場の再配置、最新設備導入による生産性の向上
- ・ 業務の集約化による店舗人員の活用
- ・ 食品安全管理レベルの向上

(4) スケジュール

- ・ 工事着工 平成 29 年 12 月
- ・ 完成及び稼動 平成 31 年春

(5) 予定投資額

センター建物・製造設備一式 約 52 億円

3. 業績予想に与える影響

現時点における業績予想に変更ありません。なお、第 53 期以降の業績に与える影響については現在精査中であり、連結業績への影響が確定次第すみやかに適時開示を行います。

完成イメージ



以 上